

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	がん専門病院における同種造血幹細胞移植前患者の GLIM criteria を用いた栄養状態の検討
	研究目的	造血幹細胞移植は、血球減少や味覚異常、移植片対宿主病（GVHD）などから体重減少を認めることが多い。また、筋肉量が少ない患者では在院日数も長期化する傾向にある。そのため、治療開始前の栄養状態の評価が必要であると考え、その方法はまだ十分に検討されていない。2018 年より世界規模での低栄養の診断基準 GLIM criteria が提唱され、低栄養とその重症度の判定が行えるようになった。本研究では、同種造血幹細胞移植を行った患者の術前栄養状態を GLIM criteria を用いて判定し、移植前栄養状態の評価、及び移植後経過への影響を検討する。
	研究対象者	当院で 2018 年 5 月～2019 年 4 月までに同種造血幹細胞移植を行い、生着不全や死亡例を除いた 44 名。
	研究期間	西暦 2020 年 3 月 3 日～西暦 2020 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他(食事摂取記録) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	伊藤 洋平
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	栄養管理科、歯科口腔外科、消化器外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし